1.4　河道の安定化対策の環境面の効果

（3）対策後の状況③ 生物環境（魚類）

リファレンスサイト：6科7種197個体

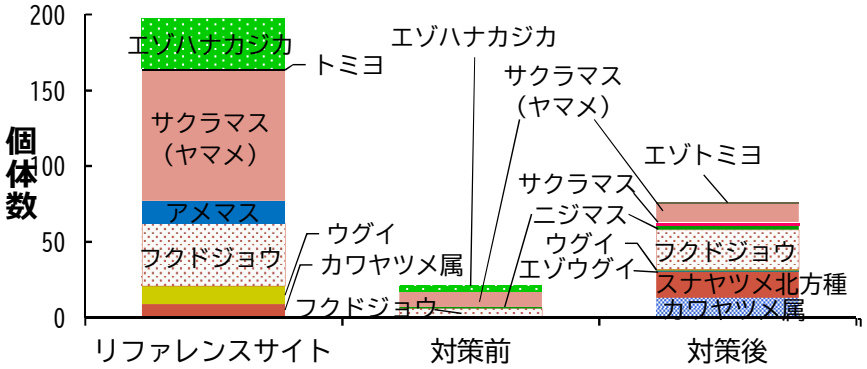
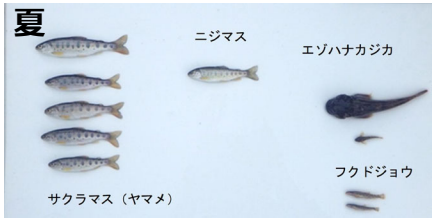


図　魚種ごとの個体数

対策前：3科4種21個体



対策後：5科7種76個体

- 対策前は流速が大きい箇所でも生息可能な種のみであった。
- 対策後、種数と個体数が増加し、スナヤツメ北方種やエゾトミヨなど緩流域を好む種も生息するようになった。